

フードプロセッサー

品番：TK700

取扱説明書

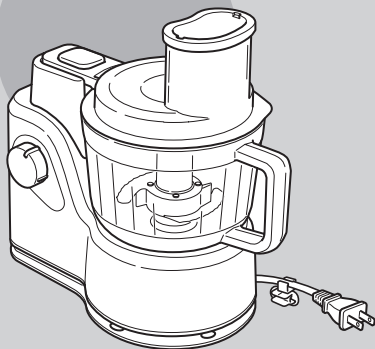
保証書付き

保証書は、裏表紙に付いております。
販売店にて必ず記入を受け、大切に
保管してください。

ご購入ありがとうございます。
ました。

ご使用になる前に、この取扱
説明書を必ずお読みいただき、
正しくご使用ください。

お読みになった後は、お使いに
なる方がいつでも見られると
ころに必ず保管してください。



もくじ



安全上のご注意 …………… 1～2
各部のなまえとはたらき …… 3～4



使いかた …………… 5～10



お手入れのしかた …………… 11



収納のしかた …………… 12
仕様 …………… 12



故障かな?と思ったら …………… 13



アフターサービス …………… 14
保証書 …………… 裏表紙



安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産の損害を未然に防ぐためのものです。必ずお守りください。
- 注意事項は次のように区分しています。

⚠ 危険

誤った扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫度合いが高いと想定される内容を示します。

⚠ 警告

誤った扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意

誤った扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

記号は、「してはいけないこと」の内容をお知らせするものです。

(左図の場合は分解禁止)

記号は、「しなければならないこと(強制)」の内容をお知らせするものです。

(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)

⚠ 警告



禁止

交流100V以外で使わない。(日本国内専用)
発火する恐れがあります。

長期間の使用や誤使用により、
電源コードが断線する恐れがあるため、
次の状態が確認されたときは使わない。

- 使用中、動いたり止まったりする
- 電源コードがねじれて戻らなくなった
- 電源コードの根元部分に変形・傷んでいる
- コンセントの差し込みがゆるい



火災・感電・やけど・ショートのおそれがあります。



禁止

電源コードは下記のように扱わない。

- 無理に曲げない
- ねじらない
- 引っ張らない
- 重いものをのせない
- 熱いものに近付けない
- はさみ込まない
- 加工しない
- 束ねたまま使用しない

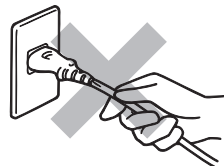
火災・感電の恐れがあります。



必ず守る

コンセントから電源プラグを抜くときは、
電源プラグを持って抜く。

電源プラグを
傷める恐れが
あります。



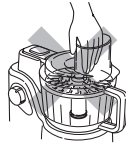
安全上のご注意



投入口に、指・スプーン・箸など調理材料以外を入れない。

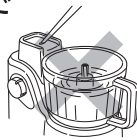
禁止

けがをする恐れがあります。



スイッチを直接指や棒などで絶対に押さない。

けがをする恐れがあります。



子供だけで使わせない。幼児の手の届く所で使わない。保管しない。

子供や幼児がけがをする恐れがあります。



梱包のポリ袋は乳幼児の手が届く場所に置かない。

頭からかぶるなどをすると口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

取り外したコードクリップを幼児の手が届く場所に置かない。

誤飲の恐れがあります。



修理技術者以外は、絶対に分解・修理・改造をしない。

分解禁止

発火・感電の恐れがあります。



本体を水につけない。本体に水をかけない。ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。

水場禁止

感電の恐れがあります。

⚠️ 注意



カッターが完全に停止していることを確かめてから、電源プラグを抜き差しする。

必ず守る

けがをする恐れがあります。



必ず守る

ボトルはガラス製なので、取り扱いには十分注意する。(10 ページ参照)

調理材料を取り出すときには、ヘラなどで取り出す。

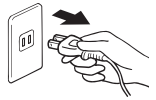
けがをする恐れがあります。



電源プラグを抜く

使用後や、部品の取り付け・取り外し、お手入をするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておく。

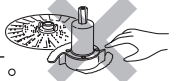
火災・感電や、けがをする恐れがあります。



禁止

カッターの刃の部分に直接手を触れない。

けがをする恐れがあります。



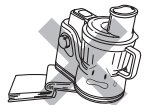
カッターが完全に停止するまでは絶対にフタを開けない。

けがをする恐れがあります。

運転中に移動させない。

不安定な所では使わない。

けがをする恐れがあります。



材料が多すぎたり、その他の原因で運転が止まったときは、そのままの状態を使わない。

本製品が破損する恐れがあります。



定格時間を超過して使わない。(次の運転まで 60 分以上休ませる。)

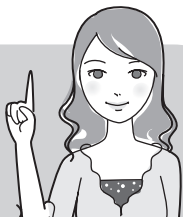
本体のスイッチの上に、材料などをこぼさない。

故障・事故の恐れがあります。

調理以外の目的では使わない。業務用として使わない。

本製品が破損する恐れがあります。

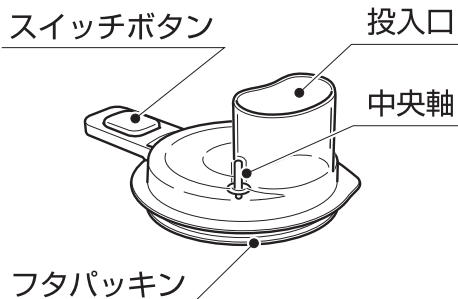
※安全上のご注意のイラストは実際の商品とは異なります。



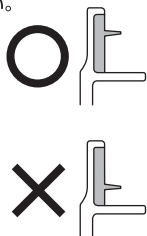
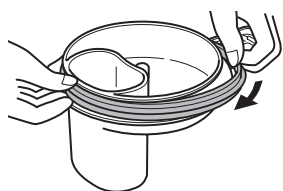
各部のなまえとはたらき

初めに、全ての部品・付属品がそろっていることをお確かめください。

フタ※



取り外してお手入れできます。
必ずフタに取り付けて使用してください。
・取り付けかた



プッシャー※

投入口から入れた材料を押し下り、
調理中に投入口をふさぐために使います。



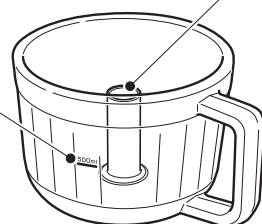
ボトル※

電子レンジ対応の耐熱ガラス製です。
(10 ページ参照)

ボトル押さえ

水位目盛
(約500ml)

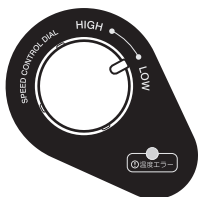
液体を加えた材料、調理
したおろし・とろろの量が
この線を超えないように
してください。



本体

スピード切替ダイヤル

回転速度を、HIGH-LOW の
2 段階に切り替えられます。

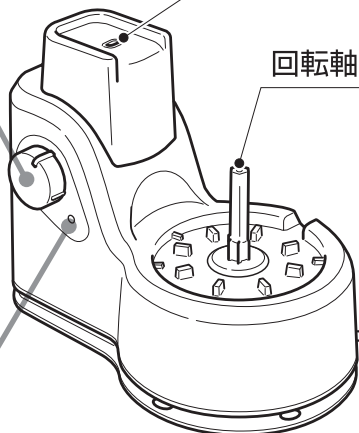


温度エラーランプ

本体の温度が上がり過ぎると
運転が停止し、ランプが
点灯します。
(13 ページ参照)

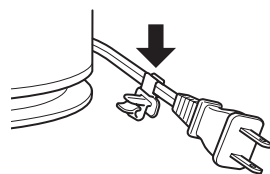
スイッチ

※材料などを、スイッチの上に
こぼさないでください。



コードクリップ

電源コードを留めます。
(12 ページ参照)
外すときは、下に押し
下げるようにして外して
ください。


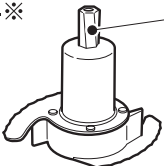



電源コード・電源プラグ

本体に巻き付けておくことができます。
※巻きつけたまま使用しないでください。

「※」の付いた部品はお取り寄せできます。
 お買い上げ販売店、または弊社「お客様ご相談窓口」へお問い合わせください。(14 ページ参照)
 ホームページでもお問い合わせいただけます。URL▶<http://www.tescom-japan.co.jp/support/>
 製品および部品の仕様は、予告なく変更する場合があります。

アタッチメント

<p>円板軸※</p>		<p>おろし刃を取り付けるときに使います。 (5 ページ参照) ※コンビネーションアタッチメント 使用時は使いません。</p>
<p>みじん切りカッター※</p>	 <p>つまみ部 刃にさわらないよう、 つまみ部を持って 取り扱ってください。</p>	<p>材料をきざむ・まぜるときに使います。 (7 ページ参照)</p>
<p>おろし刃※</p>	 <p>つまみ部 刃のある面にさわらない よう、つまみ部を持って 取り扱ってください。</p>	<p>材料をおろすときに使います。 (8 ページ参照)</p>

みじん切りカッターにおろし刃をセットし、コンビネーションアタッチメントとして使います。(9 ページ参照)

付属品

●ヘラ付きブラシ※



材料を取り出したり、
 お手入れをするときに
 使います。

●レシピブック※

本製品を使用して作ることができるメニューを
 紹介しています。



使いかた

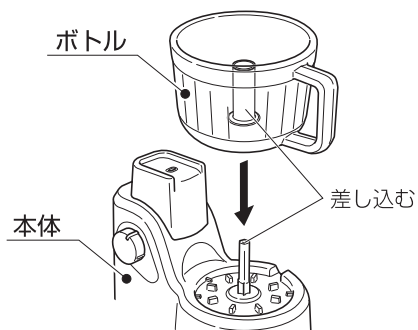
初めてお使いになるときやしばらく使わなかったときは、ご使用前に本体以外の部品を洗ってからお使いください（11 ページ参照）

本体への取り付けかた

- 1 本体に電源コードを巻きつけてある場合は、すべてほどく。

電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認して、本体にボトルを乗せる。

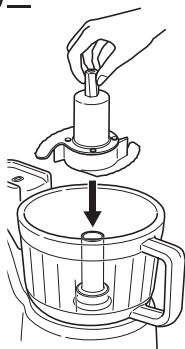
- ボトルの取っ手が調理のじゃまにならないよう、位置を調節して乗せてください。



- 2 ● みじん切りカッター

みじん切りカッターのつまみ部を持って、ボトル押さえに差し込みます。

取り外すときは、みじん切りカッターのつまみ部を持って、ボトル押さえから抜きます。

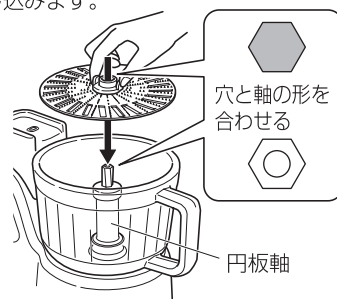


- おろし刃

① 円板軸をボトル押さえに差し込みます。

② おろし刃のつまみ部を持ち、円板軸と中央の穴の形を合わせてしっかりと差し込みます。

取り外すときは、おろし刃のつまみ部を持って、円板軸から抜き、円板軸をボトルから取り外します。

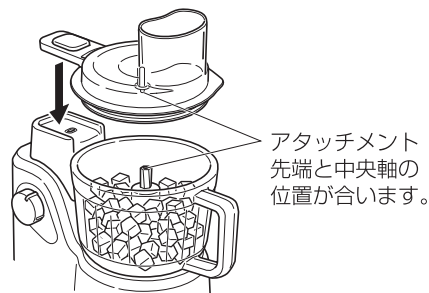


- 3 フタを取り付ける。

使用するアタッチメントにより、フタの取り付けと材料を入れる順番が変わります。（7・8 ページ参照）

※フタには必ずフタパッキンを取り付けておく。

- 本体スイッチ周りのくぼみとフタの形を合わせます。
- フタとボトルにすき間ができないよう、上からフタを押してしっかりと取り付けてください。



スイッチボタンの使いかた

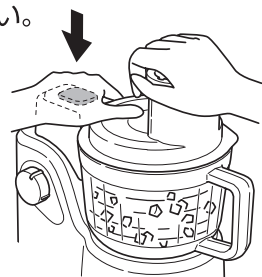
フタを取り付けてスイッチボタンを押すと、押し続けているあいだ回転します。図のようにフタを押さえながら、手のひらでスイッチボタンを押してください。

- 間欠プッシュ

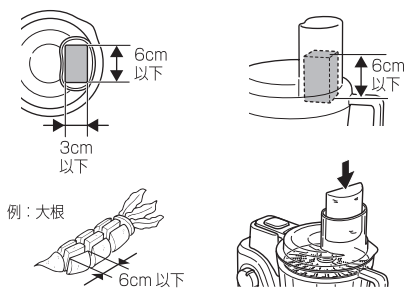
1 回 1 秒位で、スイッチボタンを押す - はなすをくり返し、間欠動作させることです。

- 連続プッシュ

スイッチボタンを押し続け、連続動作させることです。



アタッチメント	みじん切りカッター	おろし刃
スピード切替ダイヤル	きざむ：HIGH / まぜる：LOW	HIGH
使用禁止材料	<p><硬いもの> ナッツ類・コーヒー豆・乾物（豆類、うこん、だし昆布、黒糖、干し椎茸、するめ、棒だらなど）・氷・冷凍した食品など</p> <p><ねばり気の強いもの> やまいも・つくねいも・やまといも・納豆・ゴマのみ・鮎など</p>	<p><硬いもの> ナッツ類・コーヒー豆・乾物（豆類、うこん、だし昆布、黒糖、干し椎茸、するめ、棒だらなど）・氷・冷凍した食品など</p> <p><ねばり気の強いもの> やまいも・つくねいも・やまといも</p> <p>※たまねぎ、にんにくはうまくおろせません。</p>

アタッチメント	材料例	切りかた・下ごしらえのポイント	1回に使える量 (最少量～最大量)	アドバイス・ご注意・使いかた ※途中でより付いた材料は、付属のヘラなどを使って落としてください。
みじん切りカッター (きざむ・まぜる)	にんじん	皮をむいて、2cm 角位に切る。	約 50g～300g	約 8 秒～20 秒間連続ブッシュする。
	たまねぎ	皮をむいて、2cm 角位に切る。	約 50g～300g	様子を見ながら、5～15 回程 間欠ブッシュを繰り返す。
	キャベツ	芯を取り除き、2～3cm 角に切る。	約 70g～150g	
	肉類 (牛肉・豚肉・鶏肉)	骨（軟骨を含む）やすじを取り除き、2cm 角位に切る。	約 50g～300g	約 10 秒～30 秒間連続ブッシュする。 鶏肉は皮も取り除く。 薄切り肉も筋を取り除いて、2～3cm 幅に切る。
	魚 (白身魚・いわし・えび)	骨・わた・皮・頭を取り除き、2cm 角位に切る。	約 50g～300g	約 10 秒～30 秒間連続ブッシュする。
	食パン (6 枚切り)	食パンは焼かずに耳を取り除き、6～8 つにちぎる。	約 1/2 枚～3 枚	約 5 秒～15 秒間連続ブッシュする。 ※冷凍・乾燥したものは使わない。
	液体	スープ類・ドレッシング・ソース類の食材を 2cm 角位に切る。 パジルなどかさばる食品はあらかじめみじん切りでかさを減らし、液体を後から加え、調理する。	約 50ml～500ml (材料を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 熱い材料を調理する際、やけどに注意する。 液体がボトルの水位目盛 (500ml) を超えない。
おろし刃	大根	皮をむいて、材料投入口の大きさに合わせて切る。 高さ方向は 6cm 以下に切ってください。 ※直方体の場合の最大の大きさ 長さ 6cm×幅 3cm×高さ 6cm	約 20g～500g	出来上がりはボトルの水位目盛 (500ml) を超えない。 新鮮な大根を使う。
	長いも	 <p>例：大根</p>	約 20g～500g	皮を厚めにむき、投入口の大きさに合わせて切る。 ※皮をむいたときの変色を防ぐため、酢水にさらしてからよく抜きをする。
	しょうが	投入口に入る大きさに切る。	約 20g～500g	新鮮なしょうがを使う。 ※繊維が刃の上に残っておろしにくくなったときは、おろし刃を洗う。 (11 ページ参照)

みじん切りカッターの使いかた

ご 注 意

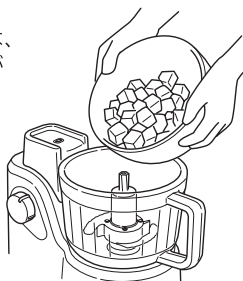
- カッターの刃に直接触れない。
- フタを開けるときは、必ず電源プラグを抜いてから開ける。
- 本体のスイッチの上に、材料などをこぼさない。
- 材料が入ったままのボトルに、再びみじん切りカッターを取り付けない。使用の都度洗ってください。

1 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認する。

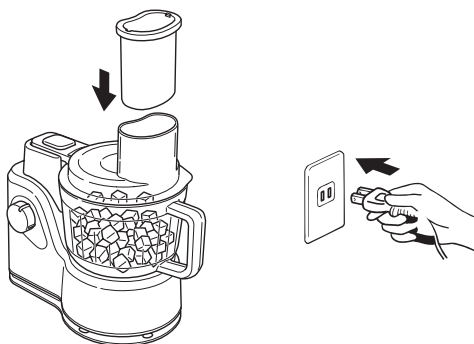
ボトル、みじん切りカッターをセットする。(5 ページ参照)

2 材料を入れる。(6 ページ参照)

- スープなどの液体を加えて調理するときは、液体（具材を含む）がボトルの水位目盛を超えないようにしてください。
- ボトル押さえからもれ出す恐れがあります。



3 フタを取り付け (5 ページ参照)、材料投入口にプッシャーを入れて、電源プラグをコンセントに差し込む。

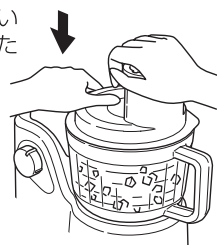


4 スピード切替ダイヤルで回転速度を設定する。(3・6 ページ参照)

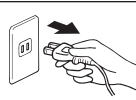
- 調理の途中でスピードを切り替えるときは、一旦スイッチボタンをはなしてから切り替えてください。

5 プッシャーをしっかりと押さえ、スイッチボタンを押す。

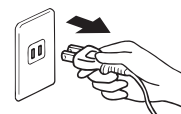
- ボトル内側に切れていない材料がはり付いてしまったときは、途中で付属のヘラなどを使って材料を落としてください。
- みじん切りカッターが回らないときは、菜ばしなどで材料を減らしてから、やり直してください。



途中でフタを開けるときは、必ず電源プラグを抜いてから開ける。

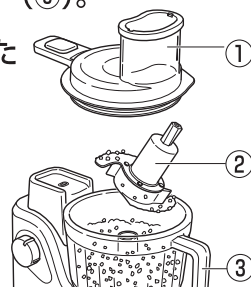


6 調理が終わったらスイッチボタンから手をはなして運転を止め、電源プラグをコンセントから抜く。



7 ボトルの取っ手を押さえてフタを外す (①)。みじん切りカッターを外し (②)、ボトルを真っすぐ持ち上げて本体から取り外す (③)。

ヘラなどで調理した材料を取り出す。



おろし刃の使いかた

ご注意

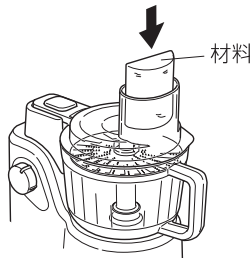
- 刃のある面に直接触れない。
- 本体のスイッチの上に、材料などをこぼさない。
- フタを開けるときは、必ず電源プラグを抜いてから開ける。
- 調理したものが水位目盛までたまったら、別の容器に移す。ボトル押さえからもれ出す恐れがあります。

1 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認する。

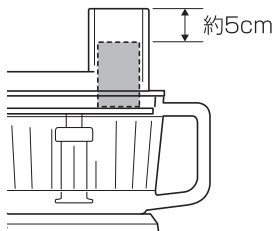
ボトル、円板軸、おろし刃、フタをセットする。(5 ページ参照)

2 材料を投入口から入れる。(6 ページ参照)

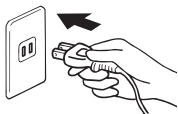
- 材料が多いときは、何回かに分けて投入口から入れてください。



- 材料を入れるとき、投入口の上部を5cm程度空けてください。プッシャーで押しにくくなりうまく調理できません。



3 電源プラグをコンセントに差し込む。

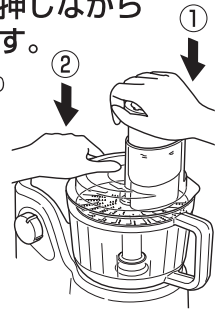


4 スピード切替ダイヤルを「HIGH」に設定する。

5 材料をプッシャーで押しながらスイッチボタンを押す。

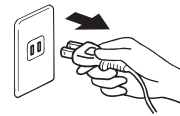
- 運転中は、フタをしっかり押さえてください。

※ 最後におろし刃の上に残った材料は、取り除いてください。



途中でフタを開けるときは、必ず電源プラグを抜いてから開ける。
必ず守る

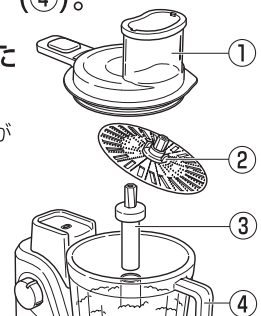
6 調理が終わったらスイッチボタンから手をはなして運転を止め、電源プラグをコンセントから抜く。



7 ボトルの取っ手を押さえてフタを外す (1)。おろし刃 (2)、円板軸 (3) を順に外し、ボトルを真すぐ持ち上げて本体から取り外す (4)。

ヘラなどで調理した材料を取り出す。

- ※ おろし刃のつまみ部がとろろなどですべることがありますので、注意してください。



コンビネーションアタッチメントでの調理

みじん切りカッターの上におろし刃をセットし、コンビネーションアタッチメントとして使います。おろす・きざむ・まぜるを組み合わせることで、調理の幅が広がります。

使用例

- ① みじん切りカッターを取り付ける。
 - ② 材料を入れる。（※材料がボトルの水位目盛を超えないようにしてください。破損する恐れがあります。）
 - ③ おろし刃を取り付ける。
 - ④ 材料をおろしながら、同時にきざみ・まぜる。
- 例：レシピブック「スイートポテト」

- ① みじん切りカッターを取り付ける。
 - ② おろし刃を取り付ける。
 - ③ 材料をおろす。
 - ④ おろし刃を取り外す。
 - ⑤ 材料を加えて、そのままきざむ・まぜる。
- 例：レシピブック「かぼちゃのポタージュ」

みじん切りカッターできざむ時間が長いと、材料がより細かくなります。細かくしたい材料は先に入れ、粗くきざみたい材料は後から入れるなど、お好みで使い分けていただけます。

●コンビネーションアタッチメントの使いかた

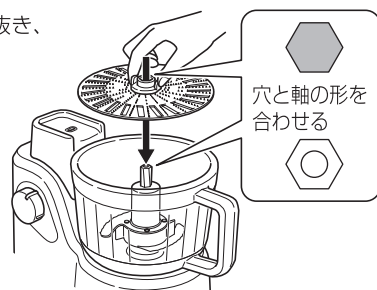
※材料の下ごしらえ、ご注意ください、使いかたについては6～8ページを参照してください。

※使用例を参考に、取り付けの途中で材料を入れてください。

1 5ページの手順で本体にボトルをセットし、みじん切りカッターを取り付ける。

2 おろし刃のつまみ部を持ち、みじん切りカッターの上に取り付ける。

- 取り外すときは、おろし刃のつまみ部を持ってみじん切りカッターから抜き、みじん切りカッターのつまみ部を持ってボトルから取り外します。



3 フタを取り付け、7～8ページの手順で調理する。

- ※途中でフタを開けるときは、必ず電源プラグを抜いてから開けてください。

4 電源プラグをコンセントから抜き、フタ・おろし刃（取り付けてある場合）・みじん切りカッターの順に外してから、ボトルを取り外す。

- ※みじん切りカッターの外し忘れに注意してください。けがの恐れがあります。

ご 注 意

- 調理途中でおろし刃を取り外したとき、材料が内側にはり付いている場合は付属のヘラなどを使って落とす。

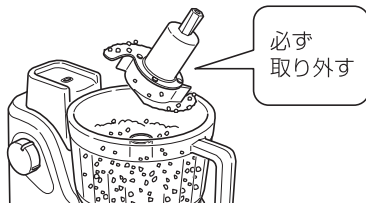
電子レンジ調理について

本製品のボトルは耐熱ガラス製で、電子レンジ対応です。
 フードプロセッサーで下ごしらえをし、そのまま電子レンジで加熱することができます。
 ※お手持ちの電子レンジの取扱い方法にしたがってお使いください。

ご 注 意

- ボトル以外は電子レンジに入れない。けが・破損の恐れがあります。
- 電子レンジ以外での加熱（オープン・直火など）は絶対にしない。家庭用電子レンジ以外は使わない。破損・変形の恐れがあります。
- 液体（スープなど）を加熱するときは、ラップをして低出力モード（600W以下）で使う。液体が突然沸とうして、飛び散る恐れがあります。
- 油脂分や糖分の多い食品は加熱しない。材料が高温になるため、破損・変形の恐れがあります。
- 加熱時間は手動で設定する。電子レンジの自動調理機能では、加熱しすぎる場合があります。

1 フタ・アタッチメントを外してから、
 ボトルを真っすぐ持ち上げて本体から
 取り外す。



- フタやアタッチメントは必ず取り外し、ボトル以外を電子レンジに入れないでください。加熱後、材料の入ったボトルにみじん切りカッターを取り付けしないでください。
- 加熱前に液体を加えるときは、ボトルの水位目盛を超えない量にしてください。

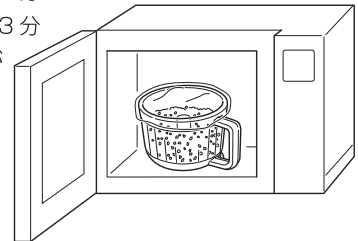
2 ボトルにラップをかけて、
 電子レンジに入れ加熱する。

下記の時間以上連続で加熱しない。

600W 6分

1000W 3分

破損の恐れがあります。



- ミトンなどをはめ、蒸気やボトルの熱に気を付けてお使いください。やけどの恐れがあります。特に液体を入れているときは、ボトル押さえからこぼれないよう注意して扱ってください。

ボトル取扱いについて

ボトル品質表示

品名：耐熱ガラス製器具 使用区分：電子レンジ用 耐熱温度差：120℃(ボトル押さえ：耐熱温度 150℃)

ボトル取扱い上の注意

- 調理の際はボトルに付いた水滴をふき取り、途中で差し水をするときには冷水の使用を避けてください。また、ガラス部分が熱くなっているときは、水に浸けたり、ぬれた布でふれたり、ぬれたところに置かないください。急激な冷却により破損する恐れがあります。
- 洗浄の際は研磨剤入りたわし、金属たわしやクレンザーなどを使用しないでください。ボトルに傷が付き、破損する原因となります。
- ボトルがカラの状態でも電子レンジにかけないでください。
- スプーンなど固いものでたたいたり、固いものにぶついたりしないでください。

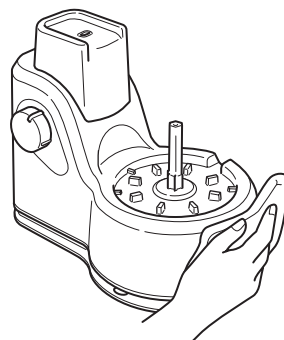


お手入れのしかた

電源プラグをコンセントから抜いてお手入れをしてください。
また、使用後はできるだけ早くお手入れしてください。

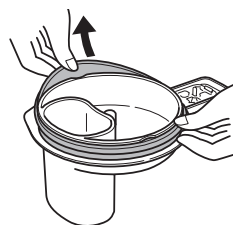
本体

やわらかい布を「石けん水」または「水で薄めた中性洗剤」に浸し、よく絞ってからよごれなどをふき取る。



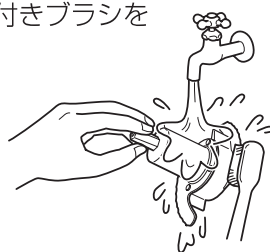
フタ・フタパッキン・プッシャー・ボトル・アタッチメント・ヘラ付きブラシ

① フタパッキンは引っ張りながらフタから外す。
みじん切りカッター・おろし刃・円板軸も、別々にお手入れする。



② みじん切りカッター・おろし刃は、付属のヘラ付きブラシを使って、水かぬるま湯でよく洗い流す。

フタ・ボトルなどは、スポンジに中性洗剤をつけて洗い、水かぬるま湯でよくすすぐ。



③ 水分をふき取り、十分に乾燥させる。

食器洗い乾燥機使用について

本体以外は、食器洗い乾燥機に対応しています。
お持ちの食器洗い乾燥機の取扱い方法にしたがって、お使いください。
※仕様 80℃を超える食器洗い乾燥機は使えません。

食器洗い乾燥機に対応しているもの

- ・フタ ・フタパッキン(フタから取り外す) ・プッシャー ・ボトル ・円板軸
- ・おろし刃 ・みじん切りカッター ・ヘラ付きブラシ

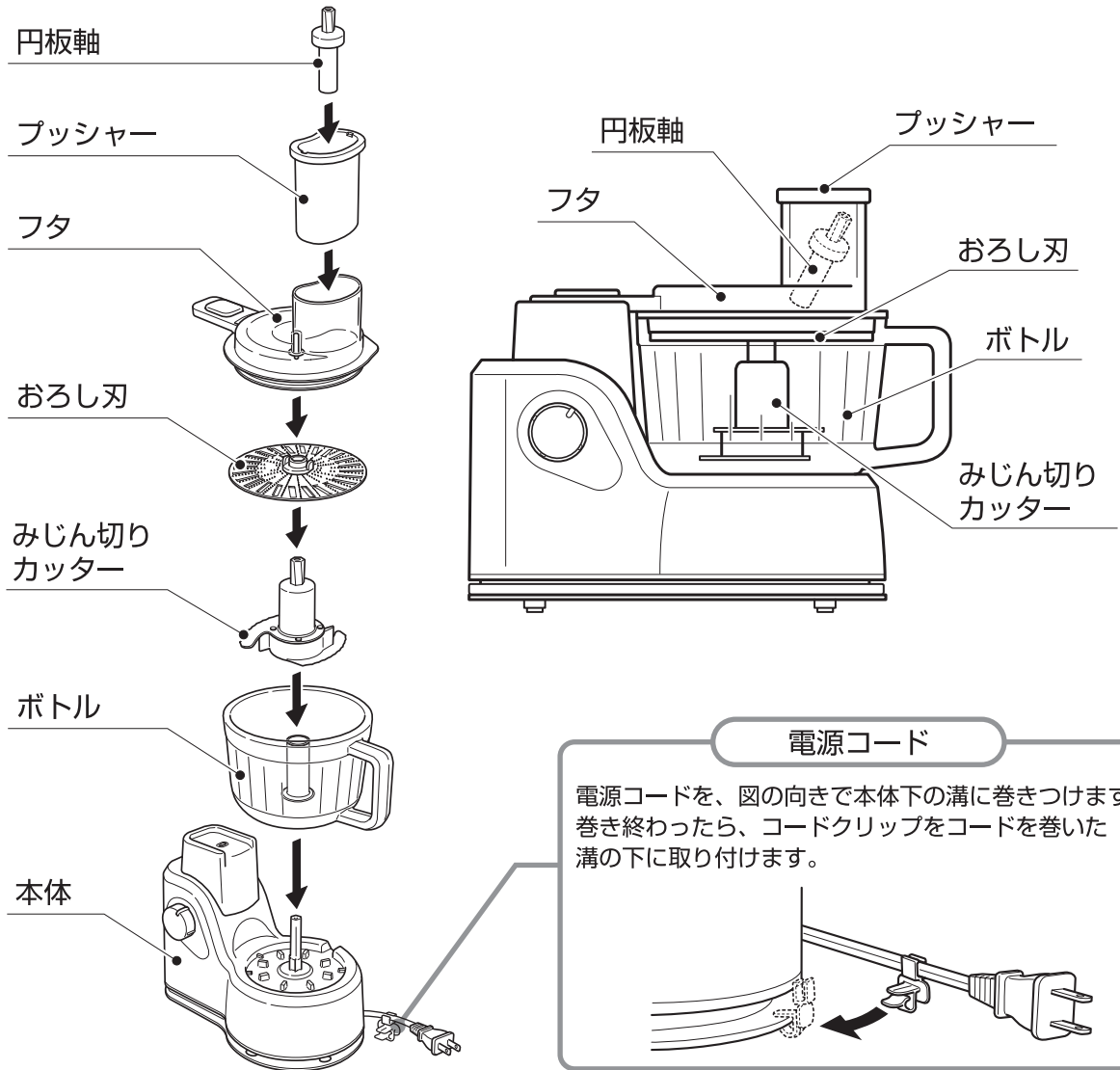
ご 注 意

- ベンジン・シンナー・金属たわし・磨き粉・漂白剤・化学ぞうきんをよごれ落としとして使わない。
- 本体を水につけない。本体に水をかけない。
- 刃の部分には直接触れない。



収納のしかた

電源コードを本体に巻きつけ、各部品を下図のように重ねると、コンパクトに収納できます。



仕様

仕様	品名	フードプロセッサー	寸法	高さ 288×幅 305×奥行き 164 (mm)
	品番	TK700	質量	約3.0kg (収納時)
	電源	AC100V 50/60Hz	定格時間	30分
	消費電力	170W	ボトル容量	500ml (液体調理の場合)
	回転数	HIGH : 2500回転/分 LOW : 2000回転/分	コード長さ	1.0m



故障かな？と思ったら

下記のことをお確かめになり、それでも調子が悪いときはただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社「お客様ご相談窓口」にご相談ください。
(14 ページ参照)

こんなときは	考えられる原因	処置の方法
振動が大きい。	<ul style="list-style-type: none">●材料の切りかたが大きすぎる。●材料が多すぎる。	<ul style="list-style-type: none">●材料を小さく切りなおす。●材料を減らす。
刃が回らない。	<ul style="list-style-type: none">●材料が多すぎる。●電源プラグが抜けている。	<ul style="list-style-type: none">●材料を減らす。●電源プラグをコンセントに差し込む。
刃が回らない。動かない。 (温度エラーランプが点灯している。)	<ul style="list-style-type: none">●モーター保護装置が働いて止まっている。	<ul style="list-style-type: none">●13 ページ下 枠内の手順で処置する。
液体がもれる。	<ul style="list-style-type: none">●液体(具材を含む)が水位目盛を超えている。●ねばり気の強い食材が入っている。●フタパッキンが正しく取り付けられていない。●フタがしっかり取り付けられていない。	<ul style="list-style-type: none">●材料を減らす。●材料を減らす。●正しく取り付ける。 (3 ページ参照)●フタをしっかり取り付ける。 (5 ページ参照)
電源プラグが異常に熱い。	<ul style="list-style-type: none">●コンセントの差し込みがゆるい。	<ul style="list-style-type: none">●コンセントに原因がある場合があります。最寄りの電器店にご相談ください。
煙が出る。 コードがねじれて戻らなくなった。		<ul style="list-style-type: none">●ただちに使用を中止してください。「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

温度エラーランプが点灯したときは、モーター保護装置が働いています。

本製品は、モーターに負荷がかかりすぎると、モーター保護装置が働いて自動停止します。
温度エラーランプが点灯したときは、

- ①電源プラグをコンセントから抜く。
- ②本体からボトルを外して材料を減らす。※刃に直接触れないよう注意する。
- ③60 分以上休ませる。

の手順で処置をしてください。

※温度エラーランプが点灯しているあいだは、使用できません。

60 分以上休ませても温度エラーランプが消えないときは、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。



アフターサービス

1.保証書について ————— 保証期間はご購入日より1年間です。

この取扱説明書には裏面に商品の保証書が付いています。保証書はご購入販売店で「販売店名・ご購入日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

2.修理を依頼される時

- 保証期間中は商品に保証書を添えてご購入販売店にご持参ください。保証書の記載内容にそって修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときはご購入販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3.補修用性能部品の保有期間

当社では、この商品の補修用性能部品(商品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後6年としております。

4.ご使用中にふだんと変わった状態になったとき

ただちにご使用を中止し、ご購入販売店に点検・修理をご依頼ください。お客様ご自身での分解修理は危険です。(修理には特殊な技術が必要です。)

5.アフターサービスについてご不明の点があるとき

ご購入販売店にお問い合わせください。

- ご転居により、ご購入販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、事前に販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで、ご購入販売店のアフターサービスを受けられない場合は、下記の「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

テスコムお客様ご相談窓口

受付時間:平日 9時~17時

- 部品・修理についてのお問い合わせ



0120-343-122

- 商品・お取り扱い・その他のお問い合わせ



0120-106-018

〒390-1242 長野県松本市和田 4217-1

FAX 0263-40-3840

株式会社 **テスコム**

〒141-0031 東京都品川区西五反田5-5-7

<p>愛情点検</p>	<p>●長年ご使用のフードプロセッサーの点検を！</p>	<p>ご使用 中止</p>
<p>こんな症状は ありませんか</p>	<p>症状</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ●こげくさい臭いがする。 ●製品の一部に割れ・ゆらみ等がある。 ●その他、異常や故障がある。 	<p>事故防止のため、電源プラグを抜き、販売店に点検・修理をご相談ください。</p>

〈無料修理規定〉

お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、お買い上げ販売店が無料修理いたしますので商品と本保証書をご持参・ご提示の上、お買い上げ販売店にご依頼ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - ①使用上の誤り、改造や不当な修理による故障または損傷。
 - ②お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
 - ③火災、地震、水害、落雷などの天災ならびに公害や異常電圧などの外部要因による故障または損傷。
 - ④業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
 - ⑤本書の提示がない場合。
 - ⑥本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理を依頼されることができない場合は、「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げ販売店または「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは「アフターサービス」の項をご覧ください。

当製品の保証書にご記入いただいた、お客様の個人情報、修理・交換品の発送のみに使用し、それ以外の目的で使用したり、第三者に提供する事は一切ございません。

保 証 書						持込修理
品 番	TK700	保証期間	お買い上げ年月日より 1年間	保証対象	本体	
★お客様	ご芳名		★販売店	★お買い上げ年月日		
	ご住所 (〒)			年 月 日		
				住所・店名		
お電話		電話				

株式会社 テスコム www.tescom-japan.co.jp

本社／東京都品川区西五反田5-5-7 工場／長野県松本市和田4217-1